



協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.81



5月

発行 / 社団法人国際観光施設協会
総務委員会
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋
2-8-5 多幸ビル九段2階
TEL03-3263-4844
FAX03-3263-4845

E-mail : kankou01@syd.odn.ne.jp
URL : <http://www.kankou-fa.jp>

2011年5月10日

新しい年度の始まりにあたって

会長 中山 庚一郎

3・11の東日本大震災から、すでにふた月、今年の桜も美しく咲き、春の花も色とりどり華やかです、思えば、先の恐ろしい地震や津波と、この美しい春の景色、自然の仕業の底知れぬことを、考えさせられます。

平成23年度の始まりにあたり、今年やるべきことをお話いたします。ひとつは1月の理事会で決定された、新公益法人への移行です。現在久野公認会計士事務所に依頼し、その申請に入るための、事業区分や会計書式の検討をしています。また新公益法人への移行に伴い定款改定もこの6月の総会で、会員諸氏の承認をいただきたいと思います。

この新公益法人制度は当初、事務手続きが複雑で困難と思われていましたが、認定以後毎年行うことになる、予算計画、決算および事業報告の届出も、何回かの打ち合わせの結果では、思ったよりも問題は少ないように感じるようになりました。とは言うもの、事務局のみなさんには会計書式の変更で、大変にご苦労をおかけします。この協会の会計報告は、観光庁の監査でも、お褒めの言葉を戴くほど、正確であり、まじめであり、ありがたく思っています。そしてこの機会に出来れば経理を電子化をして、事務局の作業を軽減したいと思います。

もうひとつは、エコ達人村の活動の実績を世の中に

示すことです。この活動の目的とする、「エコ・小」エコデザインで小エネルギーのシステムをつくることは、震災後の節電政策でもわかるように、21世紀の社会の方向です。このことにより、デザイン分野、製品エネルギー分野、設備分野、建築生産分野で、大きな変革と発展が始まります。さらにエコの考えのデザインは、環境を変え、景観を美しくするでしょう。この度の災害復興でも、この考えの技術は、多く取り入れられるでしょう。

先日、駅で降りると、駅の下から美しいトランペットの音が響いてきました。夕闇のなか一人の若者が吹いているのです、心に浸み込む音です。彼の心には営利も公益も無く、息を継ぐ苦しさも忘れて一心に吹いています。その心が人々の心に真っ直ぐ浸み入ってくるのです、美しい生き方だと思いました。

21世紀のこの国の持続的な発展には、営利と公益の両方が必要であり、公益の活動は利益がなければ継続できません。このバランスが、社会と企業の発展や調和にかかわり、人々の生きがいに関わります。私たちの協会の会員は、企業では一心に営利を行い、協会活動では、一心に公益を行う、それが人々の心に浸みこみ、企業の発展と個々の生きがいになるように、活動をしていくべきと思います。

平成23年度の通常総会と関連行事 お知らせ

平成23年度の通常総会および当日の関連行事の概要が決まりました。今年度の会場は、当協会の総会会場にふさわしい場所として都市観光の中核となる市街地施設群にあって日本経済を牽引している日本経済団体連合会が建設し2009年4月にオープンした経団連会館にて開催することといたしました。セミナーについては(株)三菱地所設計・専務執行役員の東條隆郎氏にテーマを『大手町連鎖型都市再生プロジェクトについて』と題し講演していただくことにしました。近年、日本経済の中核的役割を担う大手町地区では、建物の老朽化が進み丸の内地区や他地域と同様にグローバル化、高度情報化への対応が求められていました。

大手町連鎖型再開発事業は2003年1月、都市再生本部において決定された「都市再生プロジェクト」に基づき、旧大手町合同庁舎1, 2号館跡地を、独立行政法人都市再生機構債施行による「区画整理事業」の「種地」として活用することにより、段階的な建て替えを推進し、賑わいのある国際的にも通用するビジネス拠点の一つとして大手町地区の再構築をめざしています。

その第一弾の事業である「大手町一丁目地区市街地再開発事業」が2009年4月1日に竣工し、現在第二弾の再開発事業が2012年秋竣工を目指し進行中です。

セミナーでは大手町地区再構築の動きとともに大手町・丸の内・有楽町地区の現況についてもお伝えいただきます。興味深いお話が伺えると思います。是非奮ってのご参加をお願いします。

<平成23年度の通常総会と関連行事>

日 時	平成23年6月15日(水)14時~19時		
場 所	大手町『経団連会館』4Fダイエールルーム 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2		
スケジュール(予定)			
・通常総会	(ダイエールルーム402号室)	14時00分~15時20分	
・セミナー	(ダイエールルーム402号室)	15時30分~17時	
・情報交歓会	(ダイエールルーム401号室)	17時~19時	

インテリア部会セミナー『光のレシビ』報告

3月7日、パナソニック電気会議室において新情報発信グループ第5回のセミナーを開催し多くの受講者を集めました。講師は現在国内外で活躍中のライティング・デザイナーの内原智史氏。タイトルは『光のレシビ』興味深いキーワードに沿って氏の代表的な作品が美しい映像でスクリーン上に紹介されましたが、銀閣寺の香炉行灯、平等院鳳凰堂のライトアップなどは、日頃室内の照明のみにとらわれがちな受講者にとっても刺激的でした。また『リビングのあかりをちょっと変えるだけで夫婦喧嘩が無くなる』とのアドバイスには聞き逃せないものがありました。表参道ヒルズや舞浜イクスピアリでのLEDを使用した作品紹介では、照明デザイン上におけるLEDの可能性の大きさを力説されていました。今後は機会があればホテルの客室の照明デザインも手掛けてみたい、との楽しみながら発言でセミナーは終了しました。

インテリア部会企業見学会 報告 「豊久将三の光の見聞」

4月22日、光の技術者ともいえる豊久氏の実験工房見学セミナーに20名の参加。従来とは異なる自然光に近い光を生み出すLEDのデモルームで、色温度の変化組み合わせによる光空間を体験。その後豊久氏のセミナーに移り新しい赤緑青3色の発光原理に聞き入る。根津美術館への適用例で、光対象物の元素(自由電子)の動きまでを分析して、徹底した「美しく見えること」への追求が解説された。物から発する光を眼と脳で感受する生科学的なところから個別の最適光を探っていく開発の経緯に一同驚きを隠せなかった。求める空間と見せるものの存在を論理的に解き明かし、器具性をひき出すという。人間が美しいと感じる光デザインの究極がここに展開されていた。今回若い世代の参加者も多く次世代の光を学び、新鮮な交流も得られた会であった。

東日本大震災発生後の観光業界(官・民)の動き

未曾有の大災害をもたらした東日本大震災に対し観光庁は宿泊施設における県域を越えた被災者の受け入れを災害救助法を活用して都道府県観光主管課あて通達されました。全旅連(全国旅館組合連合会)が中心になって作成した受入可能な旅館・ホテルのリストを基に、希望被災者を宿泊費用1泊3食付き一人当たり5000円以内で受け入れる様要請されました。

当協会は3/15開催の常務理事会で対応を協議、被災されたマネジメント会員への見舞状発送ならびに

協会ホームページに東日本大震災のお見舞いとして復興にむけての決意表明を掲載いたしました。

この間、4月5日には観光庁(観光産業課鈴木課長)より福島原発に端を発した電力不足、なかでも今夏の節電対応策について提示を求められ、国際観光施設協会の提言として契約電力500kWhを超える企業の電力25%削減達成のための必要な地域施策を提言いたしました。

観光団体を代表して社団法人日本観光振興協会が音頭をとって4月21日憲政記念館において東北復興支援の集いが開催され、観光関係者が一堂に会し東北地域の観光面での支援を誓いあいました。また同協会が「震災後の観光復活に向けた提言」をとりまとめ観光庁に提出することとなり、当協会からの提言を4月27日付けで提出いたしました。あわせてホームページにも掲載いたしました。

新入会員紹介

[メーカー] 榊前川製作所

(代表者)理事 (担当者)環境・エネルギーブロック
法堂正宏 係長大嶋博也
〒135-8482 東京都江東区牡丹3-14-15
TEL03-3642-8236 FAX03-3642-8205
業務内容:産業用冷凍機並びに各種スポンジレターの製造・販売

年会費 お振込みのお願い

4月1日付で、平成23年度の年会費「請求書」を送らせていただきました。早めにお振込みくださいますようお願いいたします。

♥編集後記♥

平成23年度の通常総会が6月15日に行われ、総会の議決により新年度の具体的な活動が開始されることとなりますが、今年の総会は役員任期満了に伴う役員改選のほか、新公益法人へ向けた移行のための定款変更案が審議されることになりました。定款が変更されるための審議を行うのは協会の創立以来初めてのことです。

定款変更が議決されても内閣府の認定を受けなければ新しい法人には生まれ変わることはできませんが、いよいよ新しい公益法人に向けた作業が動き出すこととなります。

認定後の事業内容は、現在私達が行っている事業と何ら変わるところはないとのことですが、何か身が引き締まる思いがいたします。

協会の発展のため、全員で協力してまいりたいと思います。

Y.K